

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	Uターン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.526	△RG	0.035	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

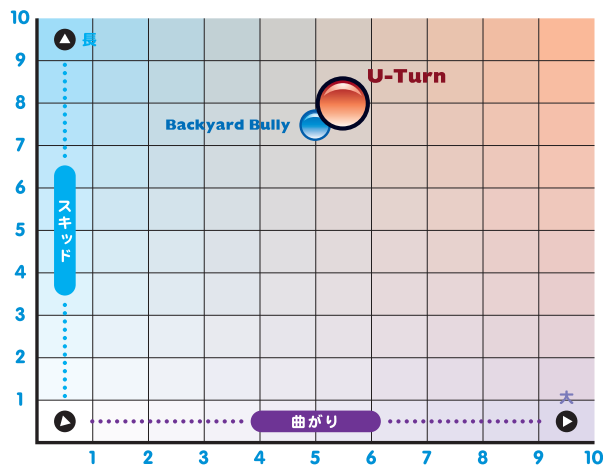
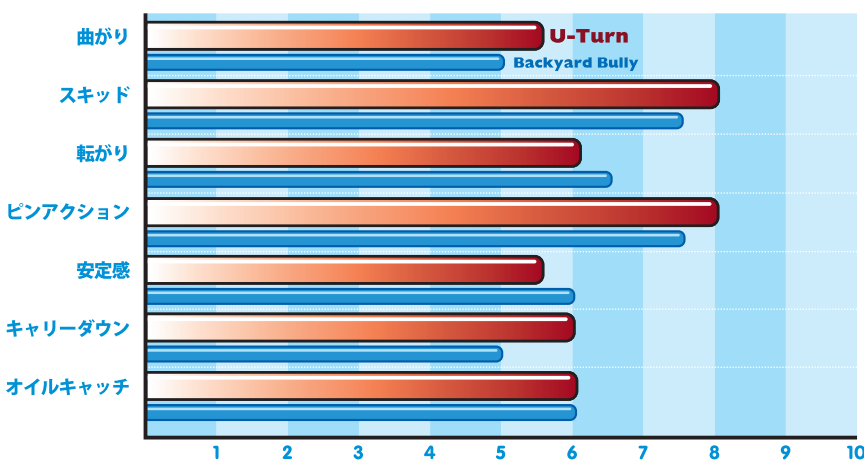
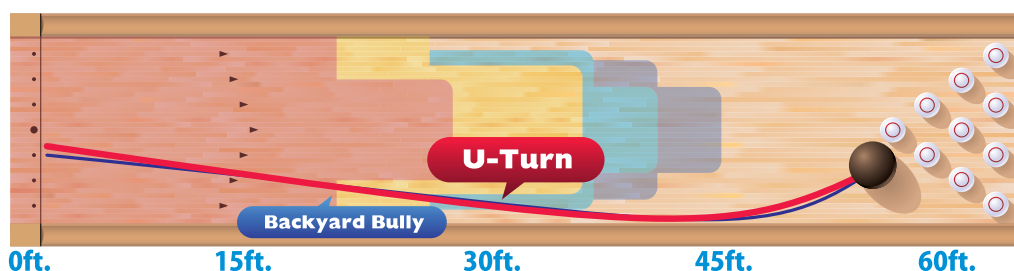
比較対象ボール：バックヤードブーリー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

バックヤード・ブーリーに比べるとスキッドはやや短く感じ、手前のクリーンな走りを感じる。転がり感はよくでているが、手前のしっかりしたオイルには多少右へ弾かれるような感じがする。曲がり幅的には大きくはなくホッケー・スティックの曲がり。スーパーフレクセル特有のドライゾーンがはっきりしているコンディションほどボール性能が発揮できるため、ミディアムからミディアムドライに使用できる設定のようである。カバーストックがスーパーフレクセルのため、キャリアードダウンに反応を示すのは現在までの発売された同カバーストック搭載ボールと同様なことが言えるでしょう。ピンアクションはやや硬めに設定されており、今まで発売されたスーパーフレクセルカバーストック特有の上にとび、タップが多いイメージが少なくなるように改善はみられます。ただ、スキッドしてから曲がり始めるまでの反応が鈍いように思われ、同じ走り系のボールとしてバックヤード・ブーリーの反応とシャープさを比べてしまうと、ややかったるい感じは否めない。言い換えればドライゾーンに向けて戻せるタイプのボウラーならば、スキッド感と曲がり感が良いように思われ、好んで使用していただければと思います。手前のブレイク・ダウンしたコンディションや大会・トーナメント等後半になった時、またはミディアム系コンディションで投球すればそのパフォーマンスは発揮されるでしょう。

特記事項

色合いはちょっと派手で、良く転がって見えるボールです。
 スピードが不足しているボウラー、または女性のボウラーおススメです。